



英語学習を再スタート

大学入学共通テストでの英語民間試験導入が断念された。今年7月の報道である。

だが、各大学の民間試験の活用は妨げない、とのスタンスから分かるのは、「話す」行為が英語の運用能力を促進する、という見識者の見解であることだ。

さて、その4技能の習得については、そのアプローチとして、認知科学(=記憶)からの研究が先頭に立っている。英語が私たちの日常から得られる自然体的な学問ではない以上、覚え方の肝を最短学習を好む受験生が知っておくと、今後の向上も一層期待できる。

以下、本からの引用である。

～情報処理の深さと記憶～

『職場や実家への帰り道で、何百回、何千回眺めてきた光景。あるとき突然建物が取り壊され、更地になったり、別の店が変わったりすることがある。そのとき、前にどんな建物があったのか、前にどんな店があったのか思い出せないという経験はないだろうか？』

結局、人の情報処理は、基本的に目的志向的で、必要のない情報には注意を向けない。そして注意を向けなかった情報は記憶されないのである。ある特定の情報を得るために何かを見ていると、それ以外の情報はほとんど見ていないし、注意を向けず、漠然と「見る」だけでは詳細はおろか、見たことすら覚えていないことが多い。何かを記憶し、それを定着させるためには、見るべきものに注意を向け、さらに、その情報を深く処理することが必要である。

情報処理の深さは記憶に影響し、深く処理された単語ほど、記憶に痕跡が残りやすい。文章に出てきた知らない単語を覚えようと思ったら、文の中で一度や二度その単語を「眺める・見る」だけでは記憶には残らない。意味を考え、辞書で確認し、もう一度文脈に当てはめて確かめる。そのくらいしないと、文章で初めて出会った単語を記憶に刻み付けることはできないのである。』 『英語独習法』(岩波書店) 今井むつみ 慶應大学教授

「ルパリシャスネス」

全くの川村独自の即興造語であるが、もしこれが言語であれば、「ルパリシャスネス」が使われる背景、場面に浸り、自分でそれを使う体験をすれば記憶に深く刻まれる。

それを証拠に、

「study, English, after school, drink, water, during, class」

は容易に覚えている。

「Strive for it unflinchingly.(勇往邁進) 川村 訳」

「unflinchingly [ʌnflɪntʃɪŋli] (断固たる想いで)」, 難しい単語ですが、不思議なもので自分の体験下に置いた単語は記憶から離れない。

生徒のみなさん、「見るべきものに注意を向け、さらに、その情報を深く処理する」までの強度に欠けていたのを自覚し、2学期再スタートを切りましょう。(1組副担任 川村 智)



9月

の行事予定

- 1日(水)～2日(木) 馬陵祭
- 3日(金) 馬陵祭閉祭式、片付け
- 10日(金) 内科検診(3, 4組)
- 20日(月) 敬老の日
- 22日(水) 献血バス来校
- 23日(木) 秋分の日
- 28日(火)～10月1日(金) 二学期中間考査

British Hills 研修報告

8月3(火)～5(木)の2泊3日で、天栄村にある「ブリティッシュヒルズ」にて、1・2学年総勢40名が英語研修を行ってきました。英語でのプレゼンテーションに向け、オールイングリッシュの授業で発音やリスニング等を学びました。2日目の夜は、どの班も夜遅くまで練習に励んでいたのが印象的です。最終日は、その成果を発揮すべく、堂々としたプレゼンテーションをすることができました。



進路について

夏休み前の学年通信で、「進路を決めるための準備はこの夏休みがチャンスだ」という記事を書きました。オープンキャンパスに参加したり、日頃の学習を更に深めたりと、進路決定のための有意義な時間は過ごせたでしょうか。

2学期になり文化祭や修学旅行などの行事が終わると、いよいよ3年生に向けての様々なビジョンが見えてくるはずですが、しかし、夏休みの保護者面談では、保護者の方々から「うちの子はのんびりしていてまだどの大学に行きたいのかもわからないんです」というお話をたくさん伺いました。保護者の方や学校の先生が心配しても、結局最後に決めるのはあなたたち自身です。

【進路決定のためのポイント】

①自分について知る

進路が決まっていない人の多くは、「自分は何が好きで、何が嫌いで、何が得意で、何が苦手か」というところの理解が欠けています。進路を決めるということは、つまるところ「自己理解」です。自分の適性や興味関心について知ることで、選択肢が広がります。友人や家族などの客観的な意見に耳を傾けてみましょう。自分では気づいていない選択肢が広がるかもしれません。

②これから学びたいことを考える

「将来の職業が決まっていなくて大学は決められない」と思っていますか？まずは、「入学後に何を学び、どんな力を磨くか」ということが大切です。似たような学部学科は全国に多数ありますが、大学によって学ぶ内容は違います。大学の教育方針や、そこに在籍している先生方の研究によって違うからです。だから、様々な大学の学部学科でどのようなゼミや研究室があって、どのような取り組みをしているのかを必ず確認しましょう。また、大学の立地や環境も大切です。下記に「東北大×九州大 同じ学部でも大学違うとこんなに違う!？」(ベネッセ)というYouTube動画のQRコードを載せますので、興味のある方は見てみてください。5分程度の動画です。



【大学入学共通テストについて】

今の3年生が受験する大学入学共通テストについて、みなさん情報はチェックしているでしょうか。下記に、大学入学共通テスト出題教科・科目について、試験時間と配点をあわせて掲載しています。来年は皆さんの番です。これからは入試情報にも気をつけておきましょう。

<令和4年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト出題教科・科目について>

※2021年6月時点の情報です。変更になる可能性もあります。情報の扱いには十分注意してください。

出題教科・科目		試験時間（配点）
国語	『国語』	80分（200点）
地理 歴史 公民	「世界史A」「世界史B」 「日本史A」「日本史B」 「地理A」「地理B」 「現代社会」「倫理」 「政治・経済」 『倫理、政治・経済』	1科目選択 60分（100点） 2科目選択 130分（うち解答時間120分）（200点）（注1）
数学①	「数学I」 『数学I・数学A』	70分（100点）
数学②	「数学II」 『数学II・数学B』 『簿記・会計』 『情報関係基礎』	60分（100点）
理科①	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」	2科目選択 60分（100点）（注2）
理科②	「物理」「化学」 「生物」「地学」	1科目選択 60分（100点） 2科目選択 130分（うち解答時間120分）（200点）（注1）
外国語	『英語』	【リーディング】80分（100点） 【リスニング】60分（うち解答時間30分）（100点） （注3）（注4）
	『ドイツ語』 『フランス語』 『中国語』 『韓国語』	【筆記】80分（200点）

（注1）地理歴史及び公民並びに理科②の試験時間において2科目を選択する場合は、解答順に第1解答科目及び第2解答科目に区分し各60分間で解答を行うが、第1解答科目及び第2解答科目の間に答案回収等を行うために必要な時間を加えた時間を試験時間とする。

（注2）理科①については、1科目のみの受験は認めない。

（注3）外国語において『英語』を選択する受験者は、原則として、リーディングとリスニングの双方を解答する。

（注4）リスニングは、音声問題を用い30分間で解答を行うが、解答開始前に受験者に配付したICプレーヤーの作動確認・音量調節を受験者本人が行うために必要な時間を加えた時間を試験時間とする。<令和4年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト出題教科・科目の出題方法等より>